

# NEWS RELEASE



2011年10月25日

各 位

カメイ株式会社  
代表取締役社長 亀井 文行  
(東証1部コード8037)

## 日本ファイルコン株式会社との総販売代理店契約締結について

### レアメタル・ヒ素・重金属・ウラン用吸着材国内販売開始

#### (製品名「ポリキレートシリーズ」)

カメイ株式会社(宮城県仙台市青葉区、代表取締役社長:亀井 文行)はこの度日本ファイルコン株式会社(東京都稲城市、代表取締役社長 相澤 毅)の開発した吸着材キレート樹脂製品(ポリキレートシリーズ)に関して、日本国内における総代理店契約を締結しました。

#### 【従来のキレート樹脂】

一般的にキレート樹脂は、ある特定の金属イオンと結合する性質を利用して金属を吸着及び離脱できる特徴を備えており、重金属を含む廃液処理に幅広く使用されています。近年、省資源の観点から、キレート樹脂により吸着された希少金属類を再利用する動きが高まっており、大容量を効率的に、かつスピーディーに吸着を可能にする製品開発が必要となっておりました。

#### 【ポリキレートシリーズの概要】

この度日本ファイルコン株式会社が開発したポリキレートシリーズは、一般的な濾過設備に使用でき、高速で大量に処理することを可能にしました。

ヒ素、ニッケル、カドミウム、鉛、亜鉛、コバルト等の重金属へは従来のキレート樹脂に対してはるかに高い吸着効率を示しており、特にレアメタルの吸着性能においては、モリブデン、バナジウム、白金、金等に対して優れた吸着能力を発揮します。

白金を例に挙げると従来のキレート樹脂と比較して約4倍の吸着効率を持つことが実証されております。(※補足資料①、②参照)

### 【対象となる業種】

重金属回収による廃液処理はもちろん、電子材料分野の不純金属の除去による各種溶液の精製、医薬分野での応用やレアメタルのみならずレアアースの濃縮・回収も視野に入れており、幅広い業界で販売活動を行ってまいります。

### 【福島原発事故への対応】

ポリキレートシリーズは、レアアースに優れた吸着特性を持ち、pH5～9 の間で全ての元素の吸着が可能となっています。このためウラン等の燃料由来の元素への更なる試験を行い、ぜひとも今回の原発事故における除染に協力すべく、実地への応用を検討してまいります。

また、ただちに被害や影響が出るものではないと見られておりますが今回の東北地震による津波により沿岸地域の海底に沈澱していた過去の鉱山開発の過程で出たヒ素を中心とする重金属を含んだ泥（いわゆる鉱毒）が巻上げられ、陸地奥深く侵入し、そのまま陸地に堆積しております。ポリキレートシリーズはこれら堆積したヒ素を含む重金属類の除去にも力を発揮します。（※補足資料③参照）

カメイ株式会社・日本フィルコン株式会社の両社はポリキレートシリーズを通じ、東日本大震災の復興に少しでも貢献したいと考えております。

### 【日本フィルコン株式会社】

日本フィルコン株式会社（東証1部コード5942）は産業用機能フィルター・コンベア製品、電子部材・フォトマスク製品、環境・水処理関連製品の製造販売などを主要な事業として業務を展開しております。また、同社の技術力を生かして新素材や環境関連商品の研究開発にも注力しており様々な分野で活躍しております。

### 【今後の予定】

本開発品については11月16日から東京ビッグサイト（東京国際展示場）で開催される、INCHEM TOKYO 2011にて発表いたします。

#### 【お問い合わせ先】

カメイ株式会社

本社 法人営業部 環境システム課

TEL: 022-264-6060

東京支店 法人営業部 環境システム課

TEL: 03-6450-1337

#### 【技術的なお問い合わせ先】

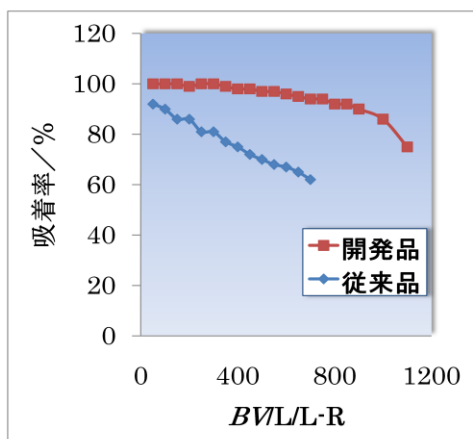
日本フィルコン株式会社

総合研究開発部新規事業開発部

TEL: 042-377-1761

(補足資料①)

## 従来品\*との比較例（白金の場合）

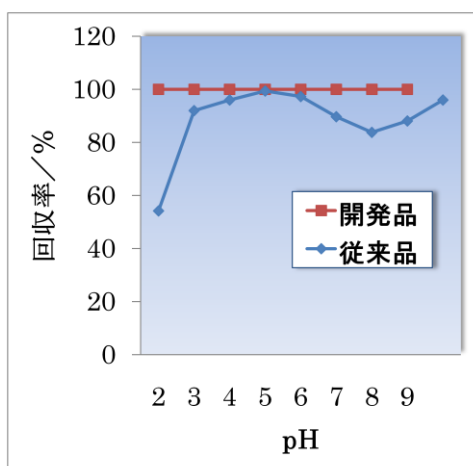


- 安定した吸着率を実現
- 80%の吸着率で比較すると吸着効率は従来の4倍

\*  
従来品：ポリアミン型キレート樹脂  
開発品：PCR-B

(補足資料②)

## 従来品\*との比較例（銅）

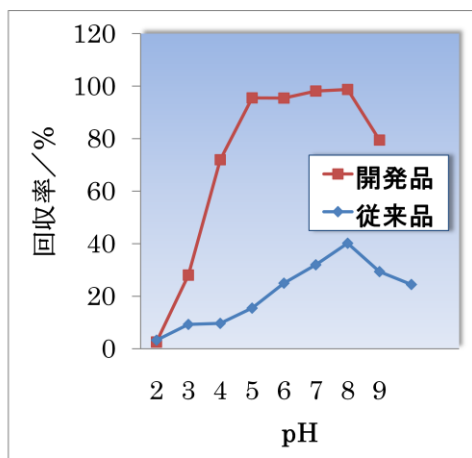


- 幅広いpHで吸着可能
- 安定した回収率を実現

\*  
従来品：イミノ二酢酸型キレート樹脂  
開発品：PCR-S

(補足資料③)

## 従来品\*との比較例（ヒ素の場合）



• pH 5～8の範囲で安定回収

\*

従来品：イミノ二酢酸型キレート樹脂  
開発品：PCR-B